

## ＜九州＞ 沖縄工業高等専門学校

\*\*\*\*\*断り\*\*\*\*\*

図や一部文章は当該高専 HP 及び当該高専が作成する資料より引用

沖縄工業高等専門学校 HP : <https://www.okinawa-ct.ac.jp/>

学校要覧 2020 : <https://www.okinawa-ct.ac.jp/UserFiles/File/gakkouyourann2020.pdf>

\*\*\*\*\*

\*アクセス(図は学校要覧より引用)

〒905-2192 沖縄県名護市字辺野古 905 番地

### 位置及び交通機関

#### 県内から

- [那覇バスターミナル～名護バスターミナル] 間(系統番号77)、または、「中部病院～名護バスターミナル」間(系統番号22)の路線バスにて「沖縄高専入口」下車、徒歩5分。  
[バス路線の経由地詳細は、<http://okinawabus.com/>を参照願います。]
- 自動車の場合は、沖縄自動車道「宜野座 I.C.」を出て国道 329 号線を北に約 10km 左側。(国道上の歩道橋が目印です。)

#### 県外から (空港からの所要時間: 約 2 時間)

- 那覇 (なは) 空港国内線ターミナル到着 2 番バス停から下記①または②のいずれか
- ①系統番号 111「名護(なご)バスターミナル」行きに乗車。「宜野座 I.C. (ぎのざいんターチェンジ)」下車、「中央公民館前」から系統番号 77「名護バスターミナル」行きに乗換「沖縄高専入口」下車、徒歩5分。
- ②系統番号 117「オリオンもとぶリゾート」行きに乗車。「世富慶(よふけ)」下車、歩道橋を渡り道路反対側より系統番号 77「那覇(なは)バスターミナル」行きに乗換「沖縄高専入口」下車、徒歩5分。



図 1 アクセスマップ

### \*特色(一部文章は沖縄高専 HP より引用)

- ・平成16年(2004年)にもっとも新しい国立高専として設立
- ・航空技術者プログラムや情報セキュリティ人材育成プログラム、ドローンや水中ロボットの開発、沖縄県産材からの健康食品や医薬品への開発等、独自の取り組みを実施して

いる。

- 本科は機械システム工学科、情報通信システム工学科、メディア情報工学科、生物資源工学科の4学科
- 専攻科の創造システム工学専攻は4コース（機械システム工学コース、電子通信システム工学コース、情報工学コース、生物資源工学コース）から構成されている

### \*教育目標・教育理念(一部文章は沖縄高専HPより引用)

#### 理念

人々に信頼され、開拓精神あふれる技術者の育成により、社会の発展に寄与する。

#### 目的

教育基本法、学校教育法及び独立行政法人国立高等専門学校機構法に基づき、深く専門の学芸を教授し、職業に必要な能力を育成する。

#### 本科の教育目標

##### 学科共通の教育目標

- (1) 技術者に必要な基礎知識を備え、実践力のある人材を育成する
- (2) 創造性を備え、自らの考え方を表現できる人材を育成する
- (3) 専門的基礎知識を理解し、自ら学ぶことのできる人材を育成する
- (4) 広い視野と倫理観を備えた人材を育成する

#### 学科毎の人材養成上の目的及び教育目標

##### 【機械システム工学科】

- 人材養成上の目的
  - 「モノ」の創造・設計・生産に必要な知識・技術をシステムとして統合した教育研究を行い、地球的視点での「モノづくり」を支える実践力の高い技術者を育成する。
- 教育目標
  1. 自然・人文科学の基礎知識をもとに論理的思考のできる能力
  2. 材料・加工学等の要素技術やCAD・CAM・CAE等のコンピュータを使用した生産技術力
  3. 各種力学、熱・流体工学等の要素技術や機械製品に関する設計技術力
  4. 電気・電子工学、制御・メカトロニクス工学等を用いたシステム化技術力

##### 【情報通信システム工学科】

- 人材養成上の目的

環境と技術の調和と社会的責任を考え、産業界の発展に寄与すべく、電気・電子工学と情報通信工学の基本技術を修得させ、情報通信機器などの設計・開発・運用のできる実践的・創造的技術者を育成する。

- 教育目標

1. 総合科学分野情報通信技術を社会的視点で捉え、多面的に物事を考え、論理的に思考・説明できる能力
2. コンピュータのハードウェアとソフトウェアの基礎知識を備え、通信を含む社会の様々な問題をシステムとして解決できる基本技術力
3. 通信システム設計、通信ネットワーク運用に必要な通信工学と情報セキュリティなどの基本技術力
4. 情報通信技術の基礎となる電子工学の基礎知識とデジタル及びアナログの集積回路設計の基本技術力

#### 【メディア情報工学科】

- 人材養成上の目的

数学や自然科学の基礎知識とメディア情報工学の専門的基礎知識をもとにして、産業界の発展に寄与し、社会に貢献できる実践的・創造的技術者を育成する。

- 教育目標

1. 自然・人文科学の基礎知識をもとに論理的思考のできる能力
2. コンピュータのハードウェア、ソフトウェアの基礎技術を理解し、ネットワーク分野、コンテンツ分野に適用できる能力
3. モバイル通信、ネットワークとセキュリティの基礎技術を理解し、応用するための基本的な能力
4. 種々の情報を加工、表現する技術の基礎を理解し、表現できる能力

#### 【生物資源工学科】

- 人材養成上の目的

環境に配慮し、生物資源の利用に必要な生物化学工学、環境科学、微生物学、食品系工学、バイオテクノロジーの基礎能力と専門技術を身につけ、産業界の要請に対応できる実践的・創造的技術者を育成する。

- 教育目標

1. 生命科学の基礎となる自然・人文科学の基礎知識を活かし論理的に思考できる能力
2. 地球環境保全の調査・分析に必要な基礎的技術力

3. 微生物学・食品科学の基礎技術を理解し、産業規模で実践できる技術力
4. 生物資源を利用した食品・化粧品などの開発に必要な基礎的技術力

#### 専攻科の目的

高等専門学校における教育の基礎の上に、精深な程度において工学に関する高度な専門的知識及び技術を教授研究し、豊かな人間性と国際性を持ち、実践性・創造性を兼ね備え複合領域にも対応できる幅広い視野を身につけ、課題設定・解決能力に優れ柔軟な思考ができる高度開発型の技術者を育成する。

#### 専攻科における養成しようとする技術者像と教育目標

##### 教育目標

- (1)知識を融合する能力を持った実践的技術者を育成する
- (2)創造力を備え、自ら創造したものを表現できる人材を育成する
- (3)専門知識を基にした応用力を持ち、自ら成長できる人材を育成する
- (4)地球的視野と倫理観を備え、社会に貢献できる人材を育成する

##### 養成しようとする技術者像

1. 実践性と創造性を兼ね備えた技術者
2. 社会や環境、人類の福祉などを地球的視点から考えられる技術者
3. グローバル化時代に対応する国際性豊かな技術者
4. コミュニケーション能力と統率力を兼ね備えた指導的技術者
5. 新技術・新産業創出を担う高度な専門技術力を持つ研究開発型技術者
6. 地域産業を担う起業家精神旺盛な技術者

#### コース毎の教育方針

##### 【機械システム工学コース】

本コースでは、マイクロマシンのような微細システムから、航空宇宙産業といった巨大システムまで、あらゆるモノづくりの基本となる機械工学の分野において、創造・開発・設計・生産に必要な知識・技術をシステムとして統合した教育・研究を行い、環境と共生できる「モノ作り」を支える研究・開発型の技術者を育成する。

##### 【電子通信システム工学コース】

本コースでは、情報通信分野の要素技術である、デバイス、集積回路、光・無線通信、マイクロ波、信号処理、アルゴリズム、シミュレーションといった知識を修得し、先端的な情報通信技術分野で活躍できる研究・開発型の創造的実践的技術者を育成する。本コースの特長は、電子工学・情報工学・通信工学の3分野を総合的に学ぶことができる

融合・複合型の教育課程を編成することであり、関連分野における多角的な知識や実践力を身につけることを目標とする。

#### 【情報工学コース】

本コースでは、コンピュータ（ソフトウェア、ハードウェア）、ネットワーク（有線ネットワーク、モバイル通信ネットワーク、光ファイバー通信ネットワーク）、メディアコンテンツ（画像、映像、音声）などの先端的なメディア・情報・通信技術分野での研究開発において活躍できる豊かな創造性と実践能力を有する技術者を育成する。不足する優秀なIT技術者を輩出するため情報工学分野のより高度な技能を深める教育を行う。

#### 【生物資源工学コース】

本コースでは、有用生物資源を材料に使い、バイオテクノロジー技術を駆使し、基礎から食品等の応用分野で創造的・実践的な技術力と研究開発担当能力を有する技術者を育成する。地元の生物資源を用いた研究については、研究成果を地元に戻元することにも取り組み、地域との連携を深めていくこととする。

### \*3つのポリシー(一部文章は沖縄高専HPより引用)

#### 本科

##### アドミッションポリシー

本科のディプロマポリシーに基づき、次のような人材を求める。

- (1)理数系分野に興味があり、それらの科目に基礎学力を有している人
- (2)責任感や忍耐力があり、多くの人とコミュニケーション力を磨ける人
- (3)規則正しい生活と、自発的に勉強のできる人

本校の教育理念に基づき、教育目標に沿った人材を育成するため、以下の3つの方法で入学者選抜を行う。

##### ・推薦による選抜

本校への入学意思が固く、志望する学科に対する適性や興味・関心の強い志願者（志望動機が適切である志願者）に対し、門を開くために本選抜を実施する。そのため、調査書による評価と面接（アドミッションポリシーに従う質問）により選抜を行う。

##### ・学力検査による選抜

本校への関心のある志願者に対し、本選抜を実施し、調査書と学力検査により選抜を行う。

##### ・帰国子女特別選抜

本校への関心があり、日本国以外での教育を受けた志願者に対し、本選抜を実施し、調査書、学力検査、小論文及び面接により選抜を行う。

編入学：本校の教育理念に基づき、教育目標に沿った人材を育成するため、以下の方法で

入学者選抜を行う。

- ・本校への関心があり、高等学校等を卒業後、技術者としての素養を身につけたいと強く希望する志願者に対し、本選抜を実施し、調査書、学力検査及び面接により選抜を行う。

### カリキュラムポリシー

本科では、以下の科目を配置し、専門的基礎力、コミュニケーション力、倫理観、自己研鑽力を育成する。

- (1)各専門分野の基礎的な知識を学び、かつそれらを応用する科目：各学科専門科目、総合科学科科目
- (2)各専門科目の技術を修得する科目：専門学科実験実習科目、卒業研究
- (3)共同で問題解決にあたりコミュニケーション力を修得する科目：専門学科実験実習科目
- (4)継続的に学習していく能力を養う科目：卒業研究

### ディプロマポリシー

本科では、以下のような能力を身に付け、所定の単位を修得した学生に対し卒業を認定する。

- (1)理工系の基礎的な学力をもとに、各専門分野の基礎的な知識と技術及びそれらを応用する実践力を身に付けている。
- (2)コミュニケーション力を身に付けており、他者と協調して課題解決に取り組むことができる能力を身に付けている。
- (3)技術者としての倫理観を持ち、専門知識を社会のために役立てる能力を身に付けている。
- (4)継続的に自己研鑽できる能力を身に付けている。

### 機械システム工学科

#### アドミッションポリシー

機械システム工学科では、次のような人材を求める。また、3年次編入学の場合にも以下に準じる。

- (1)機械に興味をもち、機械の動く仕組みや構造を理解したいと思う人
- (2)機械に関する専門知識と技術を習得し、モノづくりによる社会貢献を志している人
- (3)機械工学を学ぶ上で必要な数学、理科、英語などの基礎的な知識を有し、主体的な学修に意欲がある人

### カリキュラムポリシー

ディプロマポリシーにて掲げた能力を育成するために、以下の科目群を基本科目として用意する。

- (1)自然・人文科学に関する一般科目群：国語、英語、社会科学、数学、自然科学、健康科学など。[本科教育目標：(1)] [学科教育目標：1]
- (2)機械システムの知識を習得する科目：物理と数学を基礎としたいわゆる四力学（材料力学、流体力学、機械力学、熱力学）と、これらを基盤とした基礎専門科目、および制御工学に関連する基礎科目（電気電子工学、メカトロニクス工学、制御工学など）[本科教育目標：(1)、(3)] [学科教育目標：1、3、4]
- (3)機械システムの技術を修得する科目：実践的な機械システム工学実験、材料加工システム（工作実習）、設計製図実習、プログラミング演習などの実技科目 [本科教育目標：(1)、(3)] [学科教育目標：2、3、4]
- (4)課題解決能力を育成する科目：課題の本質を理解し論理的に解決する能力を育成する卒業研究、クラスの他者と協働して課題を解決しようとする能力を育成する創造演習、正しい倫理観を養う技術者倫理など [本科教育目標：(2)、(4)] [学科教育目標：1～4]  
これらの科目群に係る単位修得の認定は主に定期試験により行うが、科目等によってはレポート等の評価結果により評価し、60点以上で単位を認定する。

### ディプロマポリシー

機械システム工学科は、理工系の基礎学力を基礎とする機械工学の専門知識と広く人文社会系の素養を身につけ、創造性・探究心豊かな人材を育成する。本校に在籍し、以下の能力を身に付け、所定の単位を修得した学生に対して、卒業を認定する。

修得する能力：

- (1)機械工学分野の知識と技術を活用し、課題解決に向けて行動できる能力 [本科教育目標：(1)、(2)、(3)] [学科教育目標：1～4]
- (2)課題の本質を理解し、論理的に思考しようとする能力 [本科教育目標：(1)、(3)] [学科教育目標：1、3]
- (3)他者と協働し、積極的に課題解決に向けて行動できる能力 [本科教育目標：(1)、(3)] [学科教育目標：1～4]
- (4)倫理観・責任感を持って課題に取り組むことのできる能力 [本科教育目標：(1)、(4)] [学科教育目標：1]
- (5)自身の成長のため、自己研鑽できる能力 [本科教育目標：(3)、(4)] [学科教育目標：1～4]

### 情報通信システム工学科

#### アドミッションポリシー

情報通信システム工学科では、次のような人材を求める。また、3年次編入学の場合にも以下に準じる。

- (1)コンピュータ、インターネットなどに興味を持っている人

- (2)携帯端末などの新しい電子機器や電子工作に興味のある人
- (3)情報や通信の技術を身につけて、社会に貢献したい人

### カリキュラムポリシー

ディプロマポリシーにて掲げた能力を育成するために、以下の科目群を基本科目として用意する。

- (1)自然・人文科学に関する一般科目群：国語、英語、社会科学、数学、自然科学、健康科学など。[本科教育目標：(1)] [学科教育目標：1]
  - (2)工学の基礎としての数学、物理学、電気・電子工学と情報通信工学の基礎知識を身につけ、それらを応用する科目を配置する。[本科教育目標：(1)、(3)] [学科教育目標：1～4]
  - (3)問題や課題に対して、個人またはグループで自主的、計画的に解決に導き、まとめる能力を身につけるため、実験、演習、実践的科目を体系的に配置する。[本科教育目標：(2)(4)] [学科教育目標：1]
  - (4)論理的な思考力や記述力、発表と討議の能力と国際的コミュニケーション基礎能力を身につけるため、卒業研究、実験、演習、外国語の科目を配置する。[本科教育目標：(2)、(4)] [学科教育目標：1]
  - (5)技術者倫理に関する科目を配置し、グローバルな視点と様々な社会状況に応じた視点から物事を捉えられるよう配慮する。[本科教育目標：(4)] [学科教育目標：1]
  - (6)実践的・創造的技術者として自立する意識と職業選択を自主的に行える能力を育むよう配慮する。[本科教育目標：(1)～(4)] [学科教育目標：1～4]
- これらの科目群に係る単位修得の認定は主に定期試験により行うが、科目等によってはレポート等の評価結果により評価し、60点以上で単位を認定する。

### ディプロマポリシー

情報通信システム工学科は、理工系の基礎学力を基礎とする情報通信システム工学の専門知識と広く人文社会系の素養を身につけ、創造性・探究心豊かな人材を育成する。本校に在籍し、以下の能力を身に付け、所定の単位を修得した学生に対して、卒業を認定する。修得する能力：

- (1)工学の基礎知識を身につけ、それらを応用する能力を身につけている。[本科教育目標：(1)、(3)] [学科教育目標：1～4]
- (2)課題に対し、論理的な思考により、個人またはグループで自主的、計画的に物事を進めて解決を導く能力を身につけている。[本科教育目標：(2)、(4)] [学科教育目標：1]
- (3)論理的な思考力や記述力、発表と討議の能力、コミュニケーション基礎能力を身につけている。[本科教育目標：(2)、(4)] [学科教育目標：1]
- (4)技術者としての倫理観を体得し、グローバルな視点から多面的に物事を捉え先導できる能力を身につけている。[本科教育目標：(4)] [学科教育目標：1]

- (5)実践的・創造的技術者として自立する意識、職業選択を自主的に行える能力、及び社会と産業の発展に果敢に取り組む挑戦的な態度を身につけている。[本科教育目標:(1)~(4)]  
[学科教育目標:1~4]

## メディア情報工学科

### アドミッションポリシー

メディア情報工学科では、次のような人材を求める。また、3年次編入学の場合にも以下に準じる。

- (1)コンピュータの新しい技術に興味を持っている人
- (2)コンピュータを使って新しいものをつくり出す意欲のある人
- (3)コンピュータを使った技術によって社会に貢献したい人

### カリキュラムポリシー

ディプロマポリシーにて掲げた能力を育成するために、以下の科目群を用意している：

- (1)自然・人文科学に関する一般科目群：国語、英語、社会科学、数学、自然科学、健康科学など。[本科教育目標：(1)] [学科教育目標：1]
  - (2)コンピュータのソフトウェア、およびハードウェアの基礎技術に関する専門科目群：プログラミング、アルゴリズムとデータ構造、OSとコンパイラ、デジタル回路、デジタルシステム設計など。[本科教育目標：(1)、(3)] [学科教育目標：2、3]
  - (3)ネットワーク、および情報セキュリティの基礎技術に関する専門科目群：通信工学、情報セキュリティ、コンピュータネットワークなど。[本科教育目標：(1)、(3)] [学科教育目標：2,3]
  - (4)データや情報の加工・表現のための基礎技術に関する専門科目群：メディアコンテンツ基礎、コンピュータグラフィックスなど。[本科教育目標：(1)、(3)] [学科教育目標：2、3、4]
  - (5)課題解決、知識・理論・アルゴリズムの応用などの総合的能力を育成するための科目群：各種実験、卒業研究など。[本科教育目標：(2)、(4)] [学科教育目標：1~4]
- これらの科目群に係る単位修得の認定は主に定期試験により行うが、科目等によってはレポート等の評価結果によりで評価し、60点以上で単位を認定する。

### ディプロマポリシー

メディア情報工学科では、数学や自然科学の基礎知識とメディア情報工学の専門的基礎知識をもとにして、産業界の発展に寄与し、社会に貢献できる実践的・創造的技術者を育成するため、本校に在籍し、以下のような能力を身に付け、所定の単位を修得した学生に対して、卒業を認定する。

修得する能力：

- (1)自然・人文科学の基礎知識をもとに論理的思考のできる能力。[本科教育目標：(1)] [学科教育目標：1、4]
- (2)コンピュータのソフトウェア、およびハードウェアの基礎技術を理解し、ネットワーク分野、コンテンツ分野に適用できる能力。[本科教育目標：(1)、(3)] [学科教育目標：2、3]
- (3)モバイル通信、ネットワークとセキュリティの基礎技術を理解し、応用するための基本的な能力。[本科教育目標：(1)、(3)] [学科教育目標：2、3]
- (4)種々の情報を加工、表現する技術の基礎を理解し、表現できる能力。[本科教育目標：(1)、(3)] [学科教育目標：1、4]
- (5)課題解決能力、知識・理論の応用力などの総合的能力。[本科教育目標：(1)、(2)、(3)] [学科教育目標：1～4]

## 生物資源工学科

### アドミッションポリシー

生物資源工学科では、次のような人材を求める。また、3年次編入学の場合にも以下に準じる。

- (1)生物化学、環境学、微生物学、食品化学に興味があり、探究心の強い人
- (2)自ら学ぶ意欲を持ち、何にでもチャレンジしようという意思のある人
- (3)バイオテクノロジー関連の技術者や研究者として社会に貢献したい人

### カリキュラムポリシー

ディプロマポリシーにて掲げた能力を育成するために、以下の科目群を基本科目として用意している。

- (1)自然・人文科学に関する一般科目群：国語、英語、社会科学、数学、自然科学、健康科学など。[本科教育目標：(1)] [学科教育目標：1]
- (2) 生物工学の基礎科目：情報技術の基礎、基礎科学、応用物理、応用数学、基礎プログラミング、情報技術の応用、有機化学・物理化学、生物分析化学、生物有機化学、生化学、遺伝子工学、生物工学、微生物学、発酵学、環境学、環境分析学、生物資源利用学Ⅰ、生理学、食品プロセス工学、食品製造学、化学資格基礎、分子生物学、細胞工学、環境保全学、植物生理学、資源リサイクル学、生物資源利用学Ⅱ、タンパク質工学、産業化学など [本科教育目標：(1)、(3)] [学科教育目標：2～4]
- (3)技術習得に関する科目：実践的な生化学実験、遺伝子工学実験、生物工学実験、微生物学実験、環境学実験、生理学実験、化学および化学実験法など [本科教育目標：(1)、(3)] [学科教育目標：2～4]
- (4) 課題解決能力・コミュニケーション力育成科目：沖縄高専セミナー、創造演習、インターンシップ、産業創造セミナー、バイオテクノロジー基礎実験、創造研究、卒業研究な

ど [本科教育目標：(1)～(4)] [学科教育目標：1～4]

これらの科目群に係る単位修得の認定は主に定期試験によるものとするが、科目によっては、レポート、発表、報告書等で評価し、60点以上で単位を認定する。

### ディプロマポリシー

生物資源工学科では、生物資源工学科に所定の期間在学して、設定された単位を習得し、かつ以下の能力を身に付けた者に卒業を認定する。

修得する能力：

- (1) 亜熱帯域の生物資源に対する生物化学、食品化学、環境学・微生物学に関する基礎知識および専門知識を持ち、生物資源の効用や利用方法を探索できる創造的・実践的な研究・開発の技術力を有する。[本科教育目標：(1)、(3)] [学科教育目標：1～4]
- (2) アジア圏と接近している地理的条件を活かして国際交流をはかり、相手の考えを受け入れると共に自分の考えも主張し、到達点を決め、それに向かって協力していけるチームワーク力やコミュニケーション力を有する。[本科教育目標：(2)、(4)] [学科教育目標：1]
- (3) 習得した専門知識を基礎として、仕事をするために必要な情報は何か、それらをどのように組み合わせれば効率的に仕事が行えるかの思考力を有する。[本科教育目標：(2)、(4)] [学科教育目標：3、4]
- (4) 困難に遭遇した際に、自分の現状を把握し、どこが問題で、どうしたら解決できるのか、どのような助力を求めればよいのかを明確にする論理的思考とそれらを他者へ説明するコミュニケーション力を有する。[本科教育目標：(2)、(3)、(4)] [学科教育目標：1]
- (5) バイオ、化学、環境、医薬・食品系産業などで活躍できる人材であり、社会ニーズに応えることができ、国際性を備えた技術者としての能力を有する。[本科教育目標：(2)、(3)、(4)] [学科教育目標：3、4]

### 専攻科

#### アドミッションポリシー

専攻科（創造システム工学専攻）では、ディプロマポリシーに基づき、次のような人材を求める。

- (1) 技術者として地域社会、国際社会の発展に寄与したいと考えている人
- (2) 専門分野に関連する基礎知識、基礎技術を身につけている人
- (3) 基礎的な、コミュニケーション能力、倫理観を身につけている人
- (4) 新技術、新産業の創出に高い意欲を持つ人
- (5) 複合的視野をもち実践的応用能力を身につけることに意欲を持つ人

本校の教育理念に基づき、教育目標に沿った人材を育成するため、以下の3つの方法で入学者選抜を行う。

・推薦による選抜

本校への入学意思が固く、志望するコースに対する適性や興味・関心の強い志願者（志望動機が適切である志願者）に対し、門を開くために本選抜を実施する。そのため、小論文と面接（アドミッションポリシーに従う質問）により選抜を行う。

・学力検査による選抜

本校への関心のある志願者に対し、本選抜を実施し、学力検査により選抜を行う。

・社会人特別選抜

本校で行われている研究・教育活動に興味がある志願者に対し、社会人の経験を活かし、専攻科での見聞を培うため、本選抜を実施する。そのため、面接（アドミッションポリシーに従う質問）及び専門分野における口頭試問により選抜を行う。

### カリキュラムポリシー

専攻科（創造システム工学専攻）では、基本科目として以下に対応した科目を設ける。

- (1)専門科目の応用力を身につける。
- (2)知識を融合・複合する力を身につける。
- (3)他者と協働できるコミュニケーション力を身につける。
- (4)グローバルな視点で物事を見る力を身につける。

### ディプロマポリシー

専攻科（創造システム工学専攻）では、以下のような能力を身に付け、所定の単位を修得した学生に対し卒業を認定する。

修得する能力：

- (1)深い専門知識と幅広い関連分野の知識を持ち、これらを活用する能力を有する。
- (2)論理的に物事を考え、表現できる能力を有する。
- (3)倫理観を持ち、他者と協働できる能力を有する。
- (4)グローバルな視点で、多面的に物事を捉える能力を有する。

\*航空技術者プログラム(一部文章は沖縄高専 HP より引用)

#### 平成 27 年度新規開設 航空技術者プログラム

沖縄高専では、国立高専初となる「航空技術者プログラム」を平成 27 年度より 新規開設した。平成 28 年度より、さらに科目を新設する。対象学科は下記の 3 学科。

|  |  |  |
|--|--|--|
| <br>機械システム工学科 | <br>情報通信システム工学科 | <br>メディア情報工学科 |
|--|--|--|

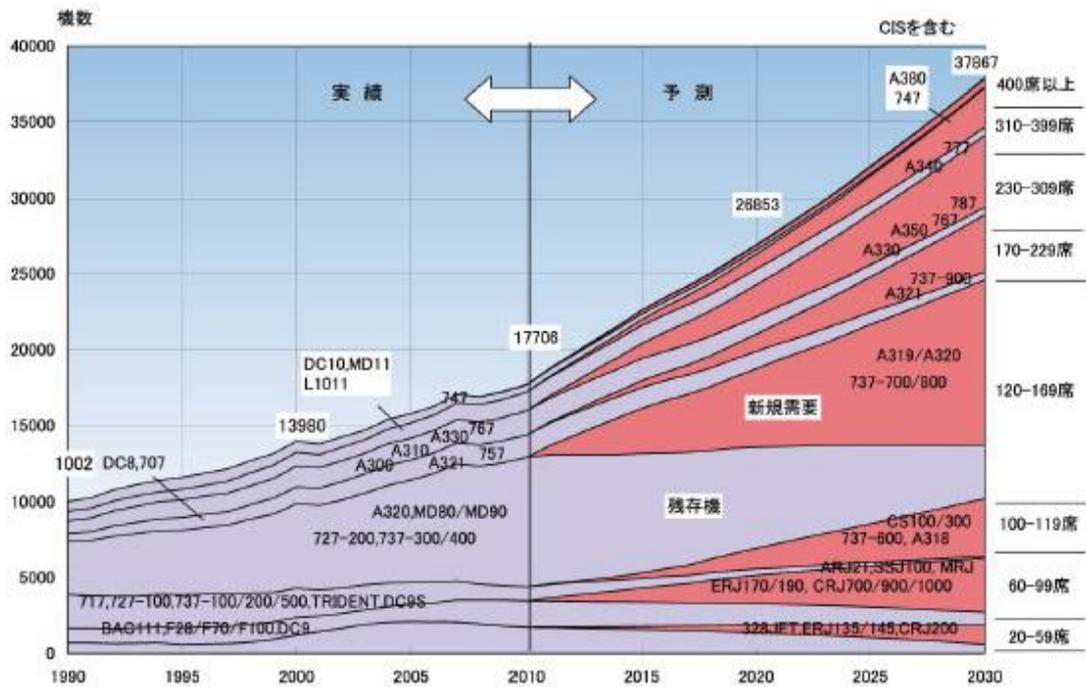
1.航空技術者プログラムとは

第4学年次より、専攻科2年生までの4年間において、航空整備士及びエンジニアとしての必要な基礎知識・技能を習得し、航空産業の技術者として中心的役割を担うことができる人材を育成するプログラムである。

2.プログラムの設置目的及び背景

今後世界の民間航空機市場は、年率約5%で増加する旅客需要を背景に、今後20年間の市場規模は、約3万機・約4兆円程度となる見通しである。そのなかでアジア市場は、最も旅客需要が伸びていく見込みとなっており、今後航空産業の需要もますます伸びていく可能性がある。

また、沖縄県が今後、那覇空港内に航空機整備事業を誘致する予定となっており、沖縄県においてもますます航空機の整備需要が高まっていく。そのなかで、沖縄高専として地域振興に貢献していくことも含めて航空産業に人材を輩出していくことが高等教育機関としての役割の一つとして考え、本プログラムを設置することになった。



(出典) 平成21年日本航空機開発協会資料

図2 ジェット機の運航機材構成予測

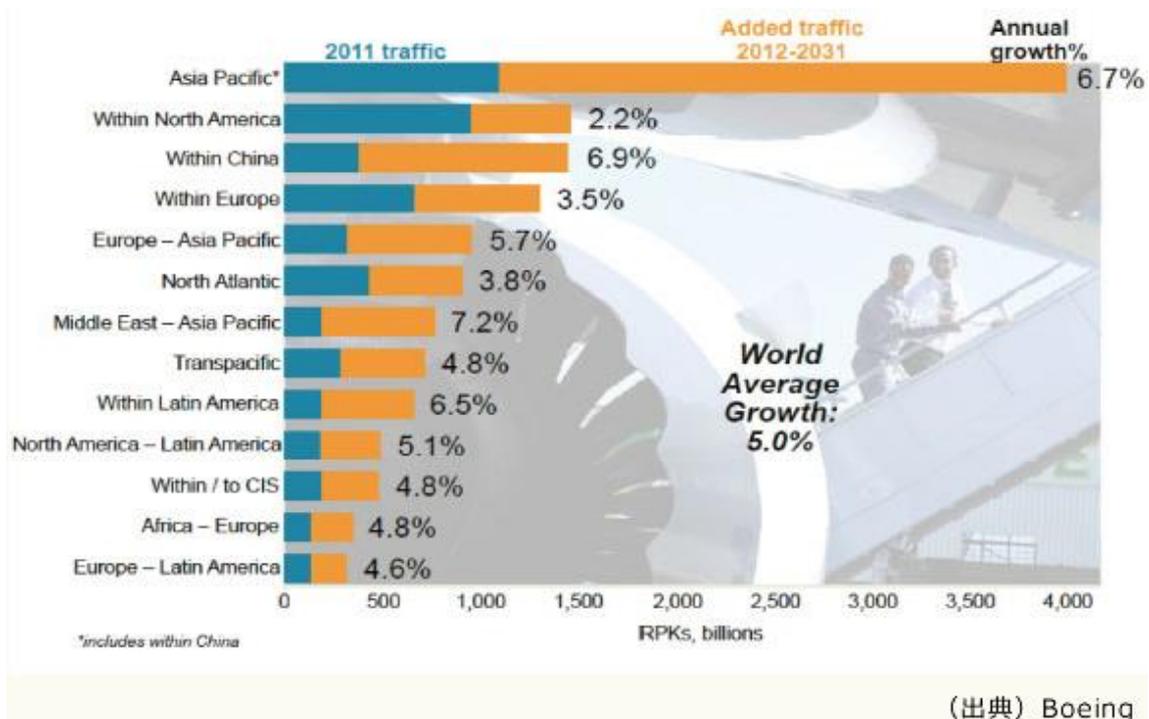


図3 世界の旅客需要見通し

### 3.プログラムの概要

プログラムの対象となる学科は、**機械システム工学科**、**情報通信システム工学科**、**メディア情報工学科**の3学科となり、概要は以下の通りである。



図4 プログラムの概要

## 新設カリキュラム内容

| 学年       | 科目名称      | 講義内容（前期）                   | 講義内容（後期）   |
|----------|-----------|----------------------------|------------|
| 4年生      | 整備基礎Ⅰ     | 整備概論                       | 航空力学       |
| 5年生      | 整備基礎Ⅱ     | 発動機学                       | 航空計器学、航空法規 |
|          | 航空実習      | 実際に航空機整備工場体験・実習を行う（集中講義）   |            |
|          | 航空機整備基礎実習 | 1等航空整備士の基礎知識について実習形式の講義を行う |            |
| 専攻科1・2年生 | 航空工学Ⅰ     | 制御工学                       | -          |
|          | 航空工学Ⅱ     | 構造力学                       | -          |
|          | 航空工学Ⅲ     | 推進工学                       | -          |
|          | 航空工学Ⅳ     | -                          | 空気力学       |

科目関連図（本科～専攻科）H28.6.20 現在

[\(科目関連図\)](#)

### 4. インターンシップについて

4年生については、5日間のインターンシップ、5年生は航空実習として那覇空港及び羽田空港にて行う。

内容としては、航空会社整備部門においての実習及び講義形式を含めた形態となっている。また、専攻科進学後は、長期のインターンシップを予定しており、より社会に精通したキャリア教育を目指していく。

\*入試形態(URLは沖縄高専HPより引用)

[本科学生募集要項](#)

[編入学生募集要項](#)

[専攻科学生募集要項](#)

\*試験状況及び偏差値や倍率(図及びリンクは沖縄高専 HP より引用)

偏差値 61

| 本科          |      |         |         |         |         |         | 専攻科      |      |       |       |        |
|-------------|------|---------|---------|---------|---------|---------|----------|------|-------|-------|--------|
| 学 科         | 収容定員 | 現 員     |         |         |         |         | 専 攻      | 収容定員 | 現 員   |       |        |
|             |      | 第1学年    | 第2学年    | 第3学年    | 第4学年    | 第5学年    |          |      | 計     | 第1学年  | 第2学年   |
| 機械システム工学科   | 200  | 44(2)   | 40(5)   | 37(3)   | 41(3)   | 30(3)   | 192(16)  | 48   | 4(0)  | 5(0)  | 9(0)   |
| 情報通信システム工学科 | 200  | 43(5)   | 44(6)   | 41(9)   | 47(9)   | 40(4)   | 215(33)  |      | 4(0)  | 12(1) | 16(1)  |
| メディア情報工学科   | 200  | 40(15)  | 42(10)  | 43(7)   | 56(16)  | 37(11)  | 218(59)  |      | 3(1)  | 2(0)  | 5(1)   |
| 生物資源工学科     | 200  | 42(20)  | 36(20)  | 38(17)  | 41(15)  | 34(15)  | 191(87)  |      | 10(6) | 8(3)  | 18(9)  |
| 計           | 800  | 165(42) | 162(41) | 159(36) | 185(43) | 141(33) | 816(195) | 48   | 21(7) | 27(4) | 48(11) |

※(括弧内)は女子の内数。

※(括弧内)は女子の内数。

入学志願者及び入学者

令和元年度入試実績

| 学 科         | 募集定員 | 志願者数    |        |      |         | 入学者数    |        |      |         |
|-------------|------|---------|--------|------|---------|---------|--------|------|---------|
|             |      | 学力      | 推薦     | 推薦女子 | 計       | 学力      | 推薦     | 推薦女子 | 計       |
| 機械システム工学科   | 40   | 32(0)   | 10(0)  | 0(0) | 42(2)   | 31(0)   | 10(0)  | 0(0) | 41(2)   |
| 情報通信システム工学科 | 40   | 29(11)  | 22(4)  | 0(0) | 51(5)   | 24(11)  | 19(4)  | 0(0) | 43(5)   |
| メディア情報工学科   | 40   | 33(9)   | 24(10) | 0(0) | 57(19)  | 22(7)   | 18(8)  | 0(0) | 40(15)  |
| 生物資源工学科     | 40   | 28(10)  | 21(2)  | 0(0) | 49(22)  | 24(10)  | 18(5)  | 0(0) | 42(20)  |
| 計           | 160  | 122(22) | 77(26) | 0(0) | 199(48) | 101(20) | 65(22) | 0(0) | 166(42) |

※(括弧内)は女子の内数。

| 専 攻           | 募集定員 | 志願者数  |       |       | 入学者数 |       |        |
|---------------|------|-------|-------|-------|------|-------|--------|
|               |      | 学力    | 推薦    | 計     | 学力   | 推薦    | 計      |
| 機械システム工学コース   | 24   | 8(0)  | 1(0)  | 9(0)  | 3(0) | 1(0)  | 4(0)   |
| 電子通信システム工学コース |      | 5(0)  | 3(0)  | 8(0)  | 1(0) | 3(0)  | 4(0)   |
| 情報工学コース       |      | 5(0)  | 1(1)  | 6(1)  | 1(0) | 1(1)  | 2(1)   |
| 生物資源工学コース     |      | 0(0)  | 9(5)  | 9(5)  | 0(0) | 9(5)  | 9(5)   |
| 計             | 24   | 18(0) | 14(6) | 32(6) | 5(0) | 14(6) | 19(19) |

※(括弧内)は女子の内数。

平成31年度入試実績

| 学 科         | 募集定員 | 志願者数    |        |      |         | 入学者数    |        |      |         |
|-------------|------|---------|--------|------|---------|---------|--------|------|---------|
|             |      | 学力      | 推薦     | 推薦女子 | 計       | 学力      | 推薦     | 推薦女子 | 計       |
| 機械システム工学科   | 40   | 35(3)   | 6(0)   | 0(0) | 41(3)   | 34(3)   | 6(0)   | 0(0) | 40(3)   |
| 情報通信システム工学科 | 40   | 40(5)   | 10(2)  | 0(0) | 50(7)   | 32(4)   | 10(2)  | 0(0) | 42(6)   |
| メディア情報工学科   | 40   | 32(7)   | 18(4)  | 0(0) | 50(11)  | 26(4)   | 16(0)  | 0(0) | 42(10)  |
| 生物資源工学科     | 40   | 24(8)   | 11(10) | 0(0) | 35(18)  | 23(10)  | 11(0)  | 0(0) | 34(18)  |
| 計           | 160  | 131(23) | 45(18) | 0(0) | 176(39) | 115(21) | 43(18) | 0(0) | 158(37) |

※(括弧内)は女子の内数。

| 専 攻           | 募集定員 | 志願者数  |       |        | 入学者数 |       |        |
|---------------|------|-------|-------|--------|------|-------|--------|
|               |      | 学力    | 推薦    | 計      | 学力   | 推薦    | 計      |
| 機械システム工学コース   | 24   | 4(0)  | 5(0)  | 9(0)   | 0(0) | 5(0)  | 5(0)   |
| 電子通信システム工学コース |      | 2(0)  | 10(1) | 12(1)  | 2(0) | 10(1) | 12(1)  |
| 情報工学コース       |      | 6(0)  | 1(0)  | 7(0)   | 2(0) | 1(0)  | 3(0)   |
| 生物資源工学コース     |      | 8(4)  | 11(5) | 19(9)  | 1(0) | 8(4)  | 9(4)   |
| 計             | 24   | 20(4) | 27(6) | 47(10) | 5(0) | 24(5) | 29(24) |

※(括弧内)は女子の内数。

平成30年度入試実績

| 学 科         | 募集定員 | 志願者数    |        |      |         | 入学者数    |        |      |      |         |
|-------------|------|---------|--------|------|---------|---------|--------|------|------|---------|
|             |      | 学力      | 推薦     | 専門実習 | 推薦女子    | 計       | 学力     | 推薦   | 専門実習 | 推薦女子    |
| 機械システム工学科   | 40   | 29(2)   | 14(3)  | 0(0) | 43(5)   | 26(2)   | 14(3)  | 0(0) | 0(0) | 40(5)   |
| 情報通信システム工学科 | 40   | 35(5)   | 14(5)  | 0(0) | 49(10)  | 30(5)   | 11(4)  | 0(0) | 0(0) | 41(9)   |
| メディア情報工学科   | 40   | 27(4)   | 10(2)  | 2(3) | 39(9)   | 21(2)   | 13(7)  | 7(0) | 0(0) | 41(5)   |
| 生物資源工学科     | 40   | 30(15)  | 27(13) | 0(0) | 57(28)  | 24(12)  | 17(8)  | 0(0) | 0(0) | 41(20)  |
| 計           | 160  | 121(25) | 65(23) | 2(3) | 189(52) | 111(21) | 55(18) | 7(1) | 0(0) | 164(40) |

※(括弧内)は女子の内数。

| 専 攻           | 募集定員 | 志願者数  |       |        | 入学者数  |       |        |
|---------------|------|-------|-------|--------|-------|-------|--------|
|               |      | 学力    | 推薦    | 計      | 学力    | 推薦    | 計      |
| 機械システム工学コース   | 24   | 14(0) | 2(1)  | 16(1)  | 3(0)  | 2(1)  | 5(1)   |
| 電子通信システム工学コース |      | 13(0) | 1(0)  | 14(0)  | 4(0)  | 1(0)  | 5(0)   |
| 情報工学コース       |      | 6(1)  | 5(2)  | 11(3)  | 3(1)  | 2(1)  | 5(2)   |
| 生物資源工学コース     |      | 4(2)  | 8(5)  | 12(7)  | 0(0)  | 8(5)  | 8(5)   |
| 計             | 24   | 37(3) | 15(7) | 52(10) | 10(1) | 13(7) | 23(18) |

※(括弧内)は女子の内数。

図5 学生情報

以下のリンクからも確認できます

|                        |                        |                        |                        |
|------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|
| <a href="#">平成31年度</a> | <a href="#">平成30年度</a> | <a href="#">平成29年度</a> | <a href="#">平成28年度</a> |
| <a href="#">平成27年度</a> | <a href="#">平成26年度</a> | <a href="#">平成25年度</a> | <a href="#">平成24年度</a> |
| <a href="#">平成23年度</a> | <a href="#">平成22年度</a> | <a href="#">平成21年度</a> | <a href="#">平成20年度</a> |
| <a href="#">平成19年度</a> | <a href="#">平成18年度</a> | <a href="#">平成17年度</a> | <a href="#">平成16年度</a> |

編入学生 情報なし

\*卒業後の進路状況(URL 及びリンクは沖縄高専 HP より引用)

進路状況

- [令和3年3月卒業予定者の進路状況（本科）](#)
- [令和3年3月修了予定者の進路状況（専攻科）](#)
- 
- [令和2年3月卒業者の進路状況（本科）](#)
- [令和2年3月修了者の進路状況（専攻科）](#)
- 
- [平成31年3月卒業者の進路状況（本科）](#)
- [平成30年9月修了者及び平成31年3月修了者の進路状況（専攻科）](#)
  
- [平成30年3月卒業者の進路状況（本科）](#)
- [平成30年3月修了者の進路状況（専攻科）](#)
  
- [平成29年3月卒業者の進路状況（本科）](#)
- [平成29年3月修了者の進路状況（専攻科）](#)
  
- [平成28年3月卒業者の進路状況（本科）](#)
- [平成28年3月修了者の進路状況（専攻科）](#)
- [平成27年3月卒業者の進路状況（本科）](#)
- [平成27年3月修了者の進路状況（専攻科）](#)
- [平成26年3月卒業者の進路状況（本科）](#)
- [平成26年3月修了者の進路状況（専攻科）](#)
- [平成25年3月卒業者の進路状況（本科）](#)
- [平成25年3月修了者の進路状況（専攻科）](#)
- [平成24年3月卒業者の進路状況（本科）](#)
- [平成24年3月修了者の進路状況（専攻科）](#)
- [平成23年3月卒業者の進路状況（本科）](#)
- [平成23年3月修了者の進路状況（専攻科）](#)

航空技術者プログラム履修者の進路は以下のリンクから確認できます

[平成29年度](#)

[平成30年度](#)

[平成31年度](#)